

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：長岡京市

重点目標	住みつけたい みどりと歴史のまち 長岡京		
	事業群	構成事業名	
	教育環境改善・充実事業	適応指導教室事業	
		学校給食事業	
		小学校施設整備事業	
		小学校施設環境の充実事業	
		中学校施設環境の充実事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>特別支援教育に必要なデータを得るため、Q-Uテストを実施した。小学校の給食室に給食調理に必要な設備や庁用備品を購入し、児童に安全・安心な給食を提供できた。長岡第七小の校舎建替えに合わせてグラウンド改修の設計を行い、学習環境の整備だけでなく総合型地域スポーツクラブ等、より多くの人に快適な環境でスポーツを楽しんでもらうための整備を進めた。市内の小中学校に必要な庁用備品を購入することにより、学校の教育環境の整備が図られた。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		適応指導教室事業				
事業の概要	子どもたち一人ひとりについての理解と対応方法、学級集団の状態と今後の学級経営の方針をつかむため、Q-Uテストを実施する。					
	事業期間	平成22年9月3日～平成23年2月17日				
	総事業費	854千円	本年度事業費	854千円	交付金交付額	432千円
事業評価	事業の必要性	Q-Uテストは、不登校・いじめ・学級崩壊などの問題に対応するデータを得ることができ、深刻な状況になる前に改善箇所を見つけるためのツールとして必要性がある。				
	事業の有効性	Q-Uテストを実施することにより、不登校出現率の抑制、適切な学級運営、子どもへの対応の振り返り及び特別支援教育等に必要なデータが得られる。				
	事業の効率性	不登校出現率の改善、別室登校児童生徒の減少、特別支援教育への貴重な資料として活用する。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果						
6 その他の成果 Q-Uテストの結果から得られたデータを活用しての特別支援教育の向上が図られた。						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		学校給食事業				
事業の概要	本市の児童数は増加傾向にあり、規模に応じた庁用備品を購入する等、学校の教育環境を整備していく必要がある。中でも本事業は、近年叫ばれている食育に大きく関係しており、安全・安心な給食の提供が求められる。					
	事業期間	平成22年7月27日～平成23年3月31日				
	総事業費	18,257千円	本年度事業費	18,257千円	交付金交付額	9,510千円
事業評価	事業の必要性	児童の健やかな成長に学校給食が担っている役割は少なくない。安全・安心な給食を調理するには、給食室に必要な設備を整理する必要がある。				
	事業の有効性	今後、食の安全の観点から、学校給食の分野においても、地産地消を取り入れた献立が増える傾向にあり、栄養バランスとともに重要となっており、給食を通じて生きた食育ができる。				
	事業の効率性	新しい給食調理機材を導入することで、調理時間の短縮化、省力化が図られ、コスト削減が図られる。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果						
6 その他の成果 給食室の調理機材を新しくしたことにより、作業効率等、職場の労働環境の改善が図られた。						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		小学校施設整備事業					
事業の概要	長岡第七小の校舎建替えに合わせて、グラウンドの移設・造成を行う。その際には、単なるトラック・遊具の移転にとどまらず、グラウンドの芝生化も積極的に計画している。						
	事業期間	平成22年8月18日～平成23年3月11日					
	総事業費	3,885千円	本年度事業費	3,885千円	交付金交付額	2,150千円	
事業評価	事業の必要性	全ての児童に対して必要最低限の施設環境を提供する必要がある。特にグラウンドは、児童の健全な体の育成に不可欠なものであり、整備が求められる。					
	事業の有効性	小学校のグラウンドなので児童だけでなく、広く学校体育施設を使って、スポーツを楽しむ人にとっても、より快適な環境で利用できる。					
	事業の効率性	グラウンド改修を校舎の建替えの時期に合わせて行うことで、単独でグラウンド改修を行うよりも効率的である。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 長岡第七小校区には、総合型地域スポーツクラブが存在する。グラウンド改修を機に、より多くの人々がスポーツに親しむ機会が増えることを期待する。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		小学校施設環境の充実事業					
事業の概要		建替えを実施した長岡第七小や児童数が増加傾向にある学校に対し、学校の教育環境を整えるため、必要な庁用備品を購入する。また、長岡第七小の建替えに伴う校舎警備装置、電話等の移設及び新たな庁用備品を購入する。					
	事業期間	平成22年4月7日～平成23年3月31日					
	総事業費	13,038千円	本年度事業費	13,038千円	交付金交付額	6,547千円	
事業評価	事業の必要性	公立学校においては、全ての児童に必要最低限の施設環境を提供する責務がある。よって庁用備品等不足している学校には補う必要がある。					
	事業の有効性	学校の施設環境を改善することで、指導方法や教材教具等の工夫が図られ、児童の学力充実・向上に貢献する。					
	事業の効率性	必要な庁用備品がバランスよく各学校に整備されたことで、市域全体で児童の学力向上が期待される。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 長岡第七小校区には地域コミュニティ協議会が設立されており、学校の建替えを機に多くの地域の人が協議会に関心を持たれることが期待される。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名：長岡京市

事業名		中学校施設環境の充実事業					
事業の概要	各中学校に不足している庁用備品を購入することで、均等な教育環境を確保するとともに、生徒の自ら学ぶ意欲の向上を図る。						
	事業期間	平成22年7月20日～平成23年3月31日					
	総事業費	3,149千円	本年度事業費	3,149千円	交付金交付額	780千円	
事業評価	事業の必要性	公立学校においては、全ての生徒に必要な最低限の施設環境を提供する責務がある。よって庁用備品等不足している学校には補う必要がある。					
	事業の有効性	学校の施設環境を改善することで、指導方法や教材教具等の工夫が図られ、生徒の学力充実・向上に貢献する。					
	事業の効率性	必要な庁用備品がバランスよく各学校に整備されたことで、市域全体で生徒の学力向上が期待される。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 中学校の施設環境を整えることで教育条件の充実につながり、教育水準のさらなる向上が期待される。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。